平成２５年度研究成果報告書《平成 25 年度教育課程研究指定校事業》

都道府県・指定都市番号	１６	都道府県・指定都市名	富山県
学校名（生徒数）	富山県立富山北部高等学校（475人）		

（本研究に係る問い合わせ先）
所在地：富山県富山市蓮町四丁目３番２０号
電話番号：０７６－４３７－７１８８
研究内容等を掲載しているウェブサイトのＵＲＬ：http://www.tomihoku-h.tym.ed.jp/

【研究成果のポイント】

○研究課題番号：４高等学校
○研究対象教科等：商業
○研究のキーワード：コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力，
コンペティション，ポートフォリオ
○研究成果のポイント：２か年(２，３年次)にわたる、「課題研究」において、グループワークやコンペティションを取り入れた指導を行い，ビジネスに対して主体的・合理的に取り組む態度を育成する。
企業や関係団体と関わりをもつことにより，職業人としての倫理観や、コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力を育成する。

【研究の目的，研究内容】

（１）研究主題

地域社会との連携による，ビジネスで活用できる実践的なコミュニケーション能力，プレゼンテーション能力を高めるための指導方法の研究

（２）研究主題設定の理由

本校においては，これまで，模擬株式会社グループ「富山北部デザイン工房」の運営や，地域の政策課題について改善提案を行う実践的な活動を行ってきた。これらの活動を一層充実させ，ビジネスの諸活動に対して職業人としての倫理観をもち，主体的・合理的に取り組むことができる生徒を育てることを目的として設定した。

（３）研究体制

指導助言・・・・・富山県教育委員会指導主事
構 成 員・・・・・商業科教諭６名

（４）１年間の主な取組の経過

平成25年度	ア　「富山北部デザイン工房」の運営を通したコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を育成する指導方法の研究[２年生対象] ・外部講師によるビジネスマナー講習会の実施 ・企業とのデザイン打ち合せ ・コンペティション形式による制作デザインの選考 ・発注者に対するプレゼンテーションの実施（校内，校外） ・株主総会の開催 イ　地域の政策課題を題材とした課題研究を通したプレゼンテーション能力を育成する指導方法の研究[３年生対象] ・外部講師によるプレゼンテーション講習会の実施 ・公益団体，企業等への提案と打ち合せ ・公募のコンペティションへの参加 ・コンペティション主催者に対する，企画・提案型のプレゼンテーションの実施（校内，校外）

（５）具体的な研究内容・方法，研究を進める上での工夫点等

ア　「富山北部デザイン工房」の運営を通したコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を育成する指導方法の研究

・模擬株式会社によるチーム活動では，１年次より培ったチームワークを生かし，会社内の役職を設け，明確な役割と責任を自覚するよう活動させた。

・作品制作，採用に当たり，質を上げるためにコンペティション形式を取り入れた。

・ブレーンストーミングやＫＪ法によるアイデア創出をプロジェクトごとに行い，グループ内やグループ間でのコンペティションやプレゼンテーションを行う場を設けた。

・企業との情報のやりとりについては，主に電子メールを活用し，文章での伝え方や必要な情報の引き出し方を経験させた。

イ　地域の政策課題を題材とした課題研究を通したプレゼンテーション能力を育成する指導方法の研究

・グループ内で話し合いの機会を多く設け，コミュニケーションを深められたかなどの自己評価を行わせた。

・公募コンペティションへの参加や外部団体へのビジネス提案を通して，コミュニケーションやプレゼンテーションの大切さを学ばせた。

・ポートフォリオの作成を通して，新たな課題を見付けさせるようにした。

【研究成果とその意義等】

（１）研究成果

ア　「富山北部デザイン工房」の運営を通したコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を育成する指導方法の研究

・採用作品の選考をコンペティション形式で行い，作品の説明をとおして表現したいことを言語化する訓練と経験を重ね，コミュニケーションの重要性を体験的に理解させることができた。

・プレゼンテーションの回数を重ねることで，経験の数が自信につながり，普段の会話においても気持ちに余裕をもって落ち着いた話し方ができるようになった。また，グループ内でのプレゼンテーションでは，採用作品を決めるに当たり，評価の観点や自分の意見を伝え，また他人の意見を聞き入れる力を身に付けさせることができた。

イ　地域の政策課題を題材とした課題研究を通したプレゼンテーション能力を育成する指導方法の研究

・外部団体が主催する公募コンペティションに参加することにより，多くの人から助言と評価を受ける機会が得られ，プレゼンテーション能力を向上させるとともに，コミュニケーションの重要性を体験的に学ばせることができた。

・度重なる外部団体との打ち合せを行うことにより，コミュニケーション能力の向上につながった。

・「課題研究」を２か年の継続履修とすることにより，将来の自分のためになるという生徒の意見があり，今後の進路指導に役立った。

（２）研究成果の意義等

２年・３年継続の「課題研究」の活動は，経済社会の一員として活躍するための能力や態度の育成に大変意義のあるものである。

（３）指定期間終了後の取組

外部団体との積極的な関わりを大切にしながら，社会で活躍できる人材を育てていくため，本研究を通して明らかとなった課題を踏まえながら，教科商業科の学習を通してビジネスの基礎を習得させ，コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力を伸長させていく取組を進めていく。